

(3) 保健管理センター

① センター

ア 設置の趣旨（目的）及び組織

保健管理センター（以下「センター」という）は、本学における保健管理に関する専門的業務を行い、もって学生及び教職員の心身の健康の保持及び増進を図ることを目的としている。

センターは、所長（副学長）1人、内科医師（学校医兼任）1人、管理栄養士の資格を有する教員1人、看護師1人、カウンセラー（公認心理師・臨床心理士）1人、事務補佐員1人で構成されている。

イ 運営・活動の状況

管理・運営については保健管理センター運営委員会の議を経て、所長が行っている。活動は、学生の定期・特別健康診断、内科・外科的な応急措置、身体・精神保健相談及び健康診断結果の写しの発行を中心に行った。今年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の全国的な流行により、保健管理センターでのすべての活動を大幅に変更して行った。

i) 学生の健康診断

学生の健康診断は令和3年度に引き続き全ての健康診断を外部健診機関（上越地域総合健康管理センター）に業務委託し、4月中の7日間に実施することができた。予定期間に受診できなかった学生には6月末までに上記外部健診機関で健診を受けてもらった。さらに今年度も全学生を対象に内科検診を行い、より一層の心身の健康状態の把握と病気の早期発見に努めた。

定期健康診断は、全員を対象に健診内容としてパソコンを用いた問診調査、身長・体重・血圧の測定、尿検査、視力検査、内科検診、胸部エックス線撮影検査を実施した。また新入生に対して眼科及び耳鼻咽喉科検診として、個人票記入によるスクリーニング健診を実施した。

健診の受診率は99.1%（学部生99.4%、大学院生98.6%）と、例年と同様に高い受診率であった。

次に特別健康診断は、例年と同様に体育実技科目の当該実習中及び課外活動中の健康管理の観点から、学部1年次学生に心電図検査を実施し、事故の発生防止に取り組んだ。また、生活習慣病を早期に発見し、学生への保健指導・保健教育へ繋げるために、学部3年次学生に特別健康診断として心電図検査、血液生化学検査及び末梢血液検査を実施した。さらに、実習中の健康管理の観点から教員免許取得プログラム受講の大学院1年次生にも心電図検査を実施した。

次に、精神的な問題を抱える学生の早期発見・早期介入を目的として、全新入生を対象としたUPI（University Personality Inventory：大学生精神健康調査）を4月に実施し、4～5月に呼び出し面接を実施することができた。

UPIの結果、心身の不調が推定される学部生15人、大学院生34人、計49人の学生に対して面接を実施した。UPIの回収率（99.7%）及び面接実施率（呼び出し面接に応じた学生；96.1%）は国立大学法人の中でも特に高い水準であった。その後、必要に応じて一部の学生にカウンセリングの呼びかけを行い、カウンセリングに繋げることができた。

ii) センターの利用状況等

当センターの利用については、開所時間内（8時30分～17時15分）において常に対応できるようにしている。身長・体重・血圧・視力・体温等は常時計測できるが、COVID-19感染予防対策として感染が疑われる学生の利用は不可とし、それ以外の学生にはマスク着用と手指消毒、検温を厳守してもらい、利用可とした。今年度の利用者数は延べ1,144人（学部生372人、大学院生648人、その他124人）で、前年度（905人）より増加した。

iii) 精神保健相談体制

今年度からカウンセラーがコーディネーターを兼務する体制に変更し、精神保健相談に従事する内科医師1人、カウンセラー1人、看護師1人の精神保健相談体制をとった。

精神保健相談は、基本的には予約制とし、従来の相談者が来所して相談を申し込む手段以外にもGoogleフォームやメールで申し込みができるよう、COVID-19感染予防対策に努めた。さらに、対面での相談をできるだけ避け、電話相談やオンライン相談を主体として相談を行った。今年度は緊急を要する事例や、学外医療機関・学内関係部署と連携する事例が多く、迅速かつ丁寧な対応に努めた。内容的には、対人関係や内因性精神障害（統合失調症や気分障害等）に関する相談が多かった。相談件数は延べ642件（学部生166件、大学院生431件、その他45件）で、前年度（656件）より若干の減少傾向であった。これは、UPIの呼び出し面接の人数を絞ったことによる影響が大きいと考えられた。

iv) 新型コロナウイルス感染症対策

令和2年1月から国内で流行し始めたCOVID-19に関する対策も前年度に引き続き行った。具体的には、感染予防策（手洗い、マスク着用、換気、いわゆる3密を避けるなど）についての啓発活動（学内掲示等）、感染症状を有する学生や教職員からの相談対応を行った。さらに地域の保健所や他大学の保健管理センターとの学内感染予防対策に関する情報共有や相談を行うことで学内関係課への指導・助言を行った。

v) 健康支援活動

学生・教職員の自主的な健康保持増進等を積極的にサポートすることを目的として、健康促進月間（11月1日～11月30日）を設定し、健康や栄養にまつわる相談を実施した。

vi) 健康保持増進に関する講演活動

健康保持増進を目的として、新入生研修（4月23日）では「快適な学生生活を送るための健康管理」、新任職員研修では（4月4日）「健康管理について」、課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修では（3月6日）「感染症予防について」と題して、保健管理センター医師が講演を行った。また、同医師が大学院新入生のオリエンテーションの中でも健康保持増進に関する内容を含めて講演を行った。いずれの講演も特にCOVID-19に関する予防対策に重点を置いて行った。

ウ 優れた点及び今後の検討課題

i) 麻疹や COVID-19 等感染症対策

今年度も学内および教育実習先での感染症流行防止対策として、入学生全員に対して麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎の4種類の感染症の抗体検査とワクチン接種に関して医療機関受診と証明書の提出を義務付けた。具体的には、昨年度と同様に麻疹に関しては入学生全員に対して医療機関での抗体検査を求め、EIA法 IgG抗体価8未満を抗体陰性・低抗体価とし、その学生はワクチン接種を受けることを必須とした。また、水痘、風疹、流行性耳下腺炎については抗体検査と抗体陰性・低抗体価の学生へのワクチン接種については昨年度と同様に勸奨の形をとった。

さらに COVID-19 が国内で流行していることも踏まえ、COVID-19 感染予防等に係るさまざまな活動を行った。まず、4月に COVID-19 感染予防も含む新入生オリエンテーション資料を保健管理センターのホームページに掲載した。さらに年間を通して大学危機管理対策本部の COVID-19 に対する危機管理対策資料の内容についての指導・助言を行った。その他、随時学生・教職員からの COVID-19 に関連する電話相談、後遺症相談に対して、指導・助言を行うとともに地域医療機関とも連携して対応した。

今後も学生・教職員の感染症についての知識や認識をさらに高める対策が必要であると考えられる。

ii) 精神保健に係る啓発活動と相談・連携体制の充実

本学では近年深刻な心の問題を抱える学生が増加していることから、精神保健相談に関する学内外の情報をセンターや学生会館の掲示板やセンターのホームページに掲載した。10月10日の「世界メンタルヘルスデー」に併せて、『心が大変な時のセルフケア』をポータルサイトに掲載し、各々が心の回復力を発揮できるように、ストレスマネジメントや相談先の情報を啓発、提供した。

その他、緊急性や深刻な状態の個別案件も頻発したため、カウンセラーだけでなく医師、看護師の三者で協力し、迅速に各課等関連部署や地域の医療・福祉の社会資源と連携した。今後も、個人情報の保護に留意し学内外の連携をすることで、早期の問題解決に努めることが重要であると考えられる。

② 運営委員会

ア 設置の趣旨（目的）及び組織

i) 組織設置の趣旨（目的）

保健管理センター運営委員会は、当センターの運営等に関する諸問題について審議するために設置された機関である。

ii) 組織の構成及び構成員等

委員長はセンター所長が務め、委員としてセンター教員1人、学生委員会委員長1人、各専攻から選出された教授又は准教授の計2人、学長が指名した教授又は准教授1人、学長が指名した保健管理センター医師1人の合計7人で構成されている。

イ 運営・活動の状況

i) 委員会等の開催状況

委員会を2022年8月29日、2023年2月28日の計2回開催した。

ii) 審議された主な事項

- ・ 月経対策プロジェクト
- ・ 本学における精神保健相談の課題について
- ・ 施設等に関する改善・改修の報告と要望
- ・ 2023 年度健康促進月間の実施
- ・ 2022 年度保健管理センター年報発行について
- ・ 2023 年度保健管理センター年間事業計画について

iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

COVID-19 の全国的な流行に伴い、その感染予防対策とメンタルヘルス対策に重点的に取り組んだ。特に保健管理センター内における COVID-19 感染予防を徹底するため、3 密を避ける取組を行った。また今年度も前年度に引き続き学生の心身の健康状態の把握と病気の早期発見のために学生の健康診断を外部医療機関に委託することとした。また密集を避けるため健康診断は講堂ロビーで行った。